

9月8日（月）『夢授業』を開催しました。『夢授業』とは、キャリア教育研究会が主催する、一般社会で楽しく、熱心に働く様々な職業に就く大人（職業人）たちが学校に集まり、「仕事のやりがい」や「働くよろこび」について対話するプログラムです。今回の「夢授業」では12業種16名の職業人が集まりました。理美容業・農業・警察官・木材産業・リバーガイド・市役所職員の説明に集まってくださったのは大山町にゆかりのある方々でした。4・5人のグループが15分間、職業人の話を聞いたり、職業人に質問したりして、その職業に対する理解を深めていくという活動を各グループが5回ずつ行いました。興味があっても話が聞けない職業には、休憩時間に個人的に質問にいったり情報収集しました。最後に交流の時間を設けましたが、6名の生徒が挙手をして印象に残った職業や話を聞いての感想を発表しました。「夢授業」の様子は学校HP、またはFacebook日田キャリア教育研究会でご覧いただけます。

この「夢授業」は、2013年北九州市立萩原小学校の卒業を控えた6年生を対象に、中学入学に向けた単発授業として、当時の校長が先生方と企画したことが始まりです。その後、多くの学校で「夢授業」を実施するようになりました。「夢授業」を活性化すべく、北九州に続き、趣旨に賛同した、田川、直方、鞍手、中間、福岡、大分、東京などでキャリア教育研究会が設立され、日田でも昨年「日田キャリア教育研究会」が立ち上げられ現在に至っています。「夢授業」はすべてボランティアで成り立っており、事務局を含め、参加していただいた職業人の方々には感謝しかありません。

7年生 河津 幸芽くんの感想

夢授業を通して、いろいろな職業について知ることができたから良かったです。特に飲食業が印象に残っています。税金のことや経営のことがよく分かったし、僕も飲食について興味が湧いたのでやってみたいと思いました。経営は難しいと思うけど、お客さんが来てくれるから、それがやりがいなのだと思います。

7年生 川述 慶人くんの感想

薬剤師さんとライフプランナーさんの仕事は、自分のためじゃなく相手のためにやっていると言っていたのが心に残りました。僕も相手のために仕事や役割をやっていききたいと思います。周りの幸せは自分の幸せなのだろうなと思いました。

8年生 新川 麗奈さんの感想

私がこの夢授業を通して思ったことは、私もなりたいたいものになれるように頑張ろうということです。みなさん、中学校まではあまり夢を持たずに過ごしていたということですが、高校生になって「これになりたい」というのが見つかってすごく努力したと思います。私は警察官になろうと思っていたけど、美容師さんの話を聞いて心を動かされました。美容室に行った人はみんな可愛くなって美容室から出てきているので、みんなを可愛くしたり、かっこよくしたりできる美容師になりたいです。警察官もいいと思うので美容師と迷います。めちゃくちゃ楽しかったです。

9年生 福井 希彩さんの感想

たくさんのことを教えていただきました。特に心に残っているのは、「やりがいがあるから仕事が続く」「今しかできないことをチャレンジしてみる」「友達を大事にする」です。大変な仕事でも得られるやりがいがあるからこそ「仕事が楽しい」「続けたい」と思えるのは素敵だと思いました。学校に通っている子どもにも、働いている大人にも共通している自由な時間帯は学校・仕事終わりの時間で、中学生の今しかできないこともあると教えてもらったので、今の時間を無駄にせず大切にしたいと思いました。さらに、「友達など交流関係を大切に」とも言われたので長い付き合いの友達も大切にしたいと思いました。



日田キャリア教育研究会では職業人として「夢授業」に参加していただける方を募集しています。興味のある方は事務局を紹介しますので、学校（三筈）まで連絡ください。